

カンジダ迅速鑑別用斜面培地 クロモスラント カンジダカラー



膣炎を引き起こす典型的な病原体の一つは酵母様真菌であり、特にカンジダに起因する膣カンジダ症(カンジダ性膣炎)は、婦人科外来患者の大半を占める普遍的な疾患です。これは腸管常在菌のカンジダが糞便を介して膣に到達し、感染が成立すると考えられています。膣カンジダ症の診断には、膣分泌物中にカンジダを証明することですが、カンジダは健常人にも存在しますので、患者の既往歴、臨床症状などを参考にしながら診断する必要があります。

本培地は主要な酵母様真菌である*C. albicans*、*C. glabrata*、*C. tropicalis*、*C. krusei*、*C. parapsilosis*等のコロニーが特長である着色により推定できる迅速鑑別培地です。

構成内容

斜面培地	5 ml × 10 本
滅菌綿棒	10 本
ラベル	10 枚

培地組成(1L当たり)

ペプトン	10.2 g
特殊色素混合物	22.0 g
クロラムフェニコール	0.5 g
カンテン	15.0 g

pH 6.1±0.2

特徴

1. 培地上のコロニーの着色により、主要カンジダ種が鑑別できます。
2. 培地上でコロニーを鑑別することにより、検査の迅速化・省力化が図れます。
3. バックグラウンドが透明なので、コロニーの色調が明瞭に観察できます。
4. コロニーの着色により、小さなコロニーの見落としが少なくなります。
5. 細菌類はほとんど発育しないので、発育したコロニーは真菌とみなすことができます。

検査方法

膣検体を添付の滅菌綿棒を用いて採取し、直接本培地表面に塗布する。バイアルビンにラベルを貼り、キャップをゆるめて35℃で48時間培養する。培養後、コロニーの色調・形態を観察する。

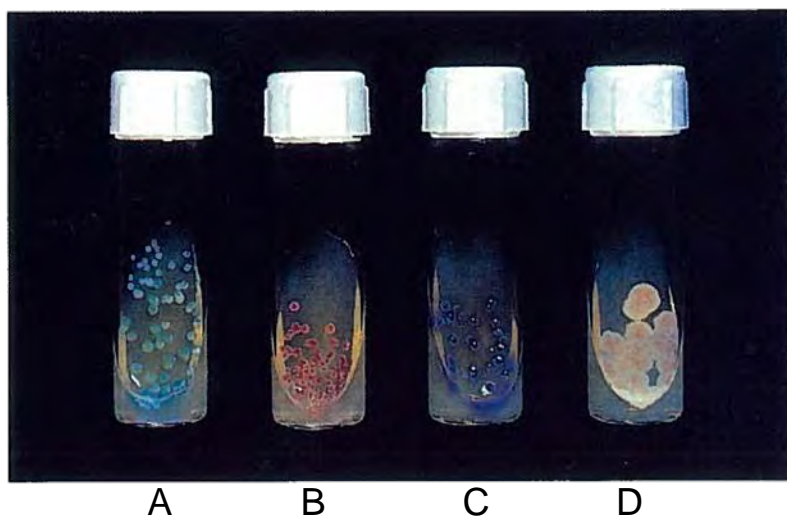
注) 検体を濃厚に塗布しないで下さい。塗布面が着色する恐れがあります。

(膣粘液にはカンジダと類似の酵素を含みますので、バックグラウンドが淡く着色することがあります。)

構成内容

本培地では、以下のようなコロニーを形成します。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| <i>C. albicans</i> | 緑色のスムーズ型コロニー |
| <i>C. glabrata</i> | 紫色のスムーズ型コロニー |
| <i>C. tropicalis</i> | 中心部が濃青色のコロニーで、周囲にハローを形成 |
| <i>C. krusei</i> | 中心部がピンク色で平坦なラフ型コロニー |
| <i>C. parapsilosis</i> | パール状の白色スムーズ型コロニー |



各菌種によるコロニーの色調

- A: *C. albicans*
B: *C. glabrata*
C: *C. tropicalis*
D: *C. krusei*

使用上の諸注意

1. 検体を濃厚に塗布しないこと。(オリモノが塊状のなっているとコロニー様に見えることがあります。)
2. 培養はキャップをゆるめて通気性を持たせて培養すること。
3. 輸送の際は、キャップをしっかり締めること。
4. 本キットは冷暗所保存すること。
5. 菌種の同定には、通常行われている同定検査を実施して確認すること。

保存温度

冷暗所保存(2~8℃)

製造後有効期限

外箱記載(製造後4ヶ月)



膿粘液によって紫色に培地
が着色することがあります。

 **関東化学株式会社**
試薬事業本部 試薬部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL: 03-6214-1090

HP: <https://www.kanto.co.jp>